

外務省委託

平成15年度NGO活動環境整備支援事業

平成15年度 「国別NGO研究会(スリランカ)」 報告書



スリランカ復興開発NGOネットワーク

ごあいさつ

「国別NGO研究会(スリランカ)」事業は、外務省の「NGO活動環境整備支援事業」の一環で平成15年度に初めて行われることになり、2003年9月から2004年3月までの間、「スリランカ復興開発NGOネットワーク」が実施しました。本報告書は、2004年1月にこの事業で行ったスリランカ合同現地調査に参加したNGOのメンバーが中心となってまとめたものです。

日本のNGOがスリランカ北東部での活動を始めて比較的まだ日が浅いこと、「スリランカ復興開発NGOネットワーク」の参加団体の中には、現地での活動をこれから本格的に開始しようとしているところも少なくないことなどから、参加NGOの間には共通の問題意識があり、共に学び、共に考え、協力して問題に対処していこうとする姿勢がありました。そのため、本研究会は円滑に運営され、スリランカ復興開発支援に関わる日本のNGOの間で信頼関係を一層強化することができました。また、外務省、国際協力機構(JICA)や国際協力銀行(JBIC)のスリランカ担当者にも本研究会の活動に参加していただいたことで、スリランカ支援に関して広い視野から率直な意見交換をすることができ、本研究会の場は、今後のNGO間の連携やODAとNGOとの連携を検討する上で、潤滑油的な役割を果たしてきたと言えると思います。

今後、本研究会事業の成果を踏まえて、初年度で行ってきたようなネットワークの活動が今後もさらに継続されて、スリランカの復興と開発に当たって日本のNGOがより協力関係を深め、その結果スリランカでの平和の確立と人々の生活向上に少なからず寄与することができればと願っています。本報告書が、現在スリランカで活動しているNGOの人々や、これから現地で活動を始めようとしているNGOの人々にとっての参考書として役に立つことがあれば、非常に嬉しく思います。

最後に、本研究会の活動にご協力いただいたNGO、外務省、JICA、JBIC、JETRO、民間コンサルタント企業、大学などの関係者の方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

また、本報告書は、本ネットワークの責任において作成したものであり、日本政府ならびに外務省、その他関係機関の見解や政策を反映するものではないことを付記します。

2004年3月

スリランカ復興開発NGOネットワーク事務局を代表して

新石 正弘

(特定非営利活動法人 ブリッジ エーシア ジャパン 事務局長)

目 次

第1章	研究会の目的、及び参加団体等.....	9
第2章	第1回～第3回研究会の報告.....	13
第3章	参加団体のスリランカにおける活動状況.....	17
第4章	合同現地調査聞き取り調査記録.....	45
第5章	「国別NGO研究会(スリランカ)」の結論及び提言.....	89
	復興・開発支援の現状及びニーズ.....	90
	1. スリランカ政府、ADB・WB等、国連機関、2国間援助等の援助概要	
	2. ニーズの変化	
	3. 移行期に取り残されるニーズ	
	4. 南部、ムスリムへの支援	
	5. 平和構築事業の重要性	
	日本政府、日本のNGOの支援活動の状況.....	93
	1. 日本政府の援助	
	2. 日本のNGOの活動	
	NGO活動実施上の問題点、課題.....	94
	1. LTTE、TROとの関係	
	2. 現地NGOとの連携、補完的關係構築の必要性	
	3. 政治状況の情報収集、和平交渉の背景理解の必要	
	4. 安全管理対策について	
	NGOとして今後求められること.....	95
	1. スリランカ北東部支援におけるNGOの役割	
	2. 具体的に必要とされる活動	
	3. ODAとNGOの連携	
	「平和構築事業におけるNGOの大胆な活用」	
	「NGOを含めたオール・ジャパン体制のための知的支援サポートの必要性」	
	4. ネットワークとしての当面の活動	
	5. 国別研究会の評価と継続に関して	

- 付属資料
- 1) 第1回研究会「スリランカの歴史・政治・社会」詳細記録...102
 - 2) 第2回研究会「異民族間融和促進における日本NGOの役割」詳細記録...106
 - 3) 第3回研究会「日本の民間セクターの連携・協力の可能性」詳細記録...112
 - 4) 日本のNGOがスリランカで活動を始めるためのガイド...119
 - 5) スリランカ復興開発NGOネットワーク参加団体概要...121

